

私たちの町議会 りくべつ No. 78

発行月日・平成26年11月7日

編集・議会運営委員会

発行・北海道陸別町議会

9月定例会

陸別町議会9月定例会は、9月9日、10日、11日、24日の4日間開かれました。今定例会では、専決処分の承認2件、条例案8件、補正予算案5件、意見書案4件、委員の任命について1件、その他1件を可決し、平成25年度決算、全7会計を全て認定し、閉会しました。

平成26年度補正予算質疑から

平成26年度 各会計補正予算

会計名		補正額	総額
一般会計		1億5,381万円	45億9,016万円
特別会計	国保事業勘定	762万円	4億3,017万円
	国保直診施設勘定	485万円	4億2,408万円
	介護保険事業勘定	893万円	2億6,195万円

○上陸別地区宮農用水管路等修繕 519万円

漏水事故の原因は、**Q** この地区の水道管は敷設してから30年以上経過しており、管の耐用年数25年を超えているので、老朽化が原因と考えている。

A 今後は十勝総合振興局と協議し、管路の更新事業を検討したい。

○台風11号による町道・林道災害復旧工事 1千689万円

近年、集中豪雨による災害が増えているが、被害の出るたびに直すのではなく、同じところが壊れないように対策すべきでは。

A 災害復旧工事は原則だが、予防的な工法も取り入れている。

○町道共栄東1条伸通り測量試験費 710万円

農協と歯科診療所間のこの町道は、道路用地が適正に確保されていない現状にあるのではないかと。

A まずは測量し、道路用地を確認し、周辺の地権者と協議している。

○商業活性化施設整備事業補助金 1億534万円

資材費・労務単価の上昇が事業費の増加理由とのことだが、建物の設計変更によるものはないのか。

A 整骨院に更衣室を追加したが、その他に大きな変更は無い。



○国保診療所看護師紹介手数料 28万円

業者の紹介を利用することとなった経緯と金額の説明を。

A 町の広報、ホームページなどを通じて募集しているが、なかなか応募が無いのが現状で、職員の勤務シフトに負担が生じていることから、実績のある業者に看護師の紹介を依頼することにしました。手数料は賃金年額の10パーセントを支払う。

一般質問

9月定例会では3人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

野尻 秀隆 議員

農畜産物加工研修センターの活用について

Q 加工センターに各農家から直接牛乳を持ち込める環境は整ったのか。また、土日祝日の利用ができるようにできないか。

(金澤町長)

A 殺菌消毒方法など保健所等の機関との協議を行い、自家生産の原乳の使用が可能となった。

町の施設は町民の使いやすいような体制作りが必要で、休日の利用もできるような問題点を拾い出し改善したい。

給食事業の開始に向けて

Q 初めての給食事業の思いを伝えて欲しい。

(野下教育長)

A 初めての事なので準備段階から良い意味で

緊張感を持って全職員で取り組んでいる。このことについては広報でもお知らせしたい。

安心安全を基本として、給食を通して食の大切さを学んでもらい、子どもの記憶の中に良い思い出として残してあげられるようなものにしていきたい。

Q

子育て支援という観点から、給食を無料にしてはどうか。徴収する金額以上の良い効果が出てくると思うが。

(町長)

A 給食費については学校給食法の縛りがあるが、給食費も教材費と同じとらえ方をする必要があるのではないか。

子育て、人口減対策も考え、全額補助できるような教育委員会とも協議しながら前向きに検討したい。

多胡 裕司 議員

人口減少問題について

Q 陸別町は基幹産業の農業を始め、様々な業界で働き手の確保に苦労している。

住宅の不足が一因と思われるが、人口減少で町が消滅しないためにも、町外から働きに来る人をすばに受け入れられるような施設が必要ではないか。

(町長)

A 農業界、林業界からの要望を受け、食事付き住宅の建設を検討している。

Q

花嫁対策は今すぐに行える人口減対策ではないか。

(町長)

A 後継者対策室は廃止したが、もう一度全町的な観点から検討してみたい。

児童生徒数減少を見据えた学校のあり方について

Q 団体競技の部活動、少年団活動の継続が危ぶまれている。

大会出場など、町外で成功や失敗の経験をすることにより、いざというときに萎縮してしまわない、たくましい子どもを育てることができないのではないか。

少人数でも才能を発揮できるような環境づくりを今から考える必要があるのでは。

(教育長)

A ご指摘のとおり、部活動の種目の再考が必要な時期になってきたと感じている。

学校以外の地域の教育力も含め、陸別町の総合力をもって教育にあたりたい。

一般質問続き

商業活性化施設について

Q 商工会が主体となつて施設が建設されるが、町の支援のあり方は。

(町長)

A 初期投資については応援したいが、それ以外については、民間の経営努力を前提に、必要があれば側面から支援したい。

古田 英一 議員

地方交付税の影響は

Q 普通交付税交付額が前年度と比較して7%も減少したが、町への影響は。

(町長)

A 予測以上の減額となつたが、財政の予算割れは回避した。地方の固有の財源である普通交付税の

削減は影響が懸念されるため、一定額の確保に向けて国へしっかりと訴えていく。

Q 今後の財源確保はどうしていくのか？

(町長)

A 独自財源としては町税が6〜7%しかない。町有木材の売却や基金の取り崩しの時期に來たかと思つている。

地域内経済循環について

Q 地元資源による地域の活性化を図るためにチャレンジプロジェクト事業を進展させては。

(町長)

A 地域ブランド製品の開発、イベントなど観光事業も進められてきている。発電事業も研究したが課題もあり、時代に合う変化をつけてさらに地域の活性化を進めて行きたい。

可決した意見書

○ 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

○ 釧路地方裁判所帯広支部における労働審判の実施を求める意見書

○ ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

○ 北海道電力株式会社への電気料金の値上げ、原子力発電再稼働を前提とした経営方針に反対する意見書

教育委員会委員の任命

教育委員会委員に角熊葉子さん(新任)を任命することに同意しました。



条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 北海道市町村職員退職手当組合を組織する団体の増加及び北海道市町村職員退職手当組合同約の変更について	可決
● 陸別町保健センター条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町営住宅設置条例の一部を改正する条例	可決
● 陸別町家庭的保育事業の設備及び運営の基準に関する条例	可決
● 陸別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例	可決
● 陸別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例	可決
● 陸別町給食センター条例	可決
● 陸別町給食センター管理運営基金条例	可決
● 重度心身障害者並びにひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	可決

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引剰余金	繰越明許費 繰越額	一般会計から の支援額	再差引剰余金	
一般会計	44億5,247	43億7,263	7,984	932	0	7,052	
特別会計	国保事業勘定	4億6,785	4億5,297	1,488	0	2,789	△1,301
	国保直診施設勘定	4億1,310	4億0,175	1,135	0	1億3,291	△1億2,156
	簡易水道事業	1億6,625	1億6,250	375	0	617	△242
	公共下水道事業	1億2,525	1億2,319	206	0	7,628	△7,422
	介護保険事業勘定	2億5,679	2億5,091	588	0	0	588
	後期高齢者医療	3,710	3,710	0	0	0	0

平成25年度決算
認定質疑から

○木炭開発事業 11万円
事業継続が困難と判断した理由は。
A 商工会所有の移動式炭窯の活用を研究したが、製造された木炭の品質、コスト面から現時点での事業化は困難と判断した。林地残材の需要が増え、原木の不足が予想されることも理由の一つ。

○ミネラルウォーター開発事業 284万円
事業化するかどうか、今後の方向性を示す時期が来ているのでは。
Q ミネラルウォーター化により、消費期限が2年に延び、防災備蓄用として大口の購入も出てきた。
A 今後の方向性については平成26年度中に判断したい。

○優良家畜導入支援貸付金 5千507万円
貸付枠の上限まで利用されなかった原因は。
Q 牛の個体価格の上昇と、農協による個別農家への経営指導などによるものと考えている。

○国保直営診療施設勘定 特別会計
医薬品の利益率、ジエネリック医薬品の使用割合はどの程度か。また、希望者にはジエネリック医薬品を処方すべきでは。
Q 利益率は平均3%程度で、ジエネリック医薬品の割合も全医薬品購入額の3%程度。
A ジエネリック医薬品の導入については、安全性の優先、在庫管理の観点などから判断しており、今後の検討課題としたい。

○社会教育講座
子どものわくわく体験の回数・内容を見直しては。
Q ラフティング(川下り)体験など、新しい事業にも取り組んでいるが、これで十分だとは考えていない。
A 社会教育委員、スポーツ推進委員の意見もいたしながら、講座の充実に努めたい。

○電気料金全般
値上げの影響はどの程度か。
Q 先行投資として街路灯・防犯灯のLED化を積極的に進めてはどうか。
A 全体で平成24年度対比約3%増加した。
A 街路灯・防犯灯のLED化については年次計画を立てて実施する。

○農畜産物加工研修センターの運営
りくべつ低温殺菌牛乳を利用した製品開発は今後どう進めていくのか。
Q 乳製品の製造については今後の課題と考えており、一般利用も含め検討していきたい。

第3回臨時会

7月7日に開会された第3回臨時会では、工事請負契約の締結について1件、条例改正案1件、補正予算案1件を審議し、それぞれ可決しました。

補正予算の主なもの

- 旧セイコーマートの土地・建物の購入 380万円
- 旧セイコーマート、大通第2駐車場公衆便所の解体工事費 987万円
- 商業活性化施設整備事業補助金 1千296万円

常任委員会合同道外視察報告

報告者

視察団団長 野尻秀隆

4月21日～4月24日の4日間で議員8名、事務局1名、副町長と3名の主幹(町職員) 合計13名での視察となりました。

最初の視察先は四国の有名な四万十川源流に位置する梶原町(とやまはら)であります。

人口約3千800人、林業、農業が基幹産業で地域資源を最大限利用してエネルギー自給率100%を目指している町で興味津々の研修でした。

平成10年にオープンしたプールの熱源は地中1000mまで掘削して設置したパイプ27本より採取した地中熱を利用して水温30度に設定され、四季を問わず年中使用できる温水プールです。

平成11年には風力発電用



*木がふんだんに使用された梶原町役場庁舎

のデンマーク製風車(600kw)を2基建設しました。建設費は3億円、発電した電気は全て売電しておりました。売電収入年6千000万円、維持費2千500万円、年間収益は3千500万円となっております。年間380万kwhの発電量を想定しているので、1家庭1ヶ月300kwhの電力を使用すると仮定しますと、町内58%1千060戸

の電力を賄えると表現したから解りやすいかもしれませ

ん。
平成20年には木質バイオマス地域循環利用モデル事業の一環として木質ペレット工場を第3セクターで建設しました。公共施設にはペレット消費施設が多数導入されています。

平成21年には中学校横の河川改修工事に伴い発生した6mの落差を利用して、最大出力53kwの水路式小水力発電所を2億円の建設費で完成させました。昼間は中学校の施設に供給し、夜は町内の街路灯(82基)に電力を供給しています。また、その余剰電力は四国電力に系統連係し売電し、不足分は四国電力から購入するシステムになっています。

その他太陽光発電設備の設置に、1kw当たり20万円の補助を行い、梶原町の家庭における太陽光発電設備の設置率は全国でも屈指の

*わずかな落差を利用した小水力発電所



全戸数の5.5%にもなっているそうです。

ペレットストーブの設置には4分の1の補助も行っておりました。

それぞれに課題もあるのですが、エネルギー自給率100%を、そして資源の有効活用による共生した循環型社会づくりを目指し官民一体となって進んでいる姿には感銘を受け、同時に陸別町に対する素晴らしいヒントとパワーを頂いたような気がしました。

次の視察は岡山理科大学工学部バイオ・応用科学科です。

ここでは海水でもなく淡水でもない「好適環境水」の開発に成功しました。この「好適環境水」を利用して内陸部で海の魚を養殖する技術が開発され「山村で海の魚の養殖を」を旗印にしている大変興味深い研究でした。

*「好適環境水」のおかげで海水魚と淡水魚が同居している水槽、通常ではありえない光景です



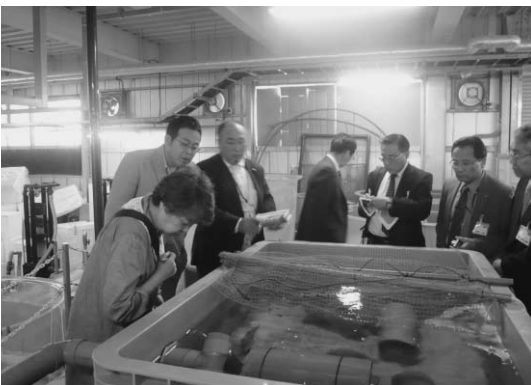
現在の海の状態は、温暖化により生態系が崩れていたり、乱獲や汚染、絶滅危惧種の魚が増えたり、いろんな問題が起きています。そのため海での養殖が困難になってきます。加えて世界の人口が増加し、魚を食べる人も増えてきているので、いつか食料危機の問題に発展してくることが考えられます。現代では野菜工場があるように、海ではないところに魚工場をつくり、食料危機に対応できるようにする必要があり、まずは山村でも海の魚の養殖ができるような技術を開発し、実用化していきたいと山本俊政准教授が熱く語ってられました。

「好適環境水」を使ってトラフグ、ヒラメ、マダイ、クエなど約10種類の魚の飼育を行いました。クロマダグロの出荷でマスコミにも取り上げられ、世界的にも注目されております。

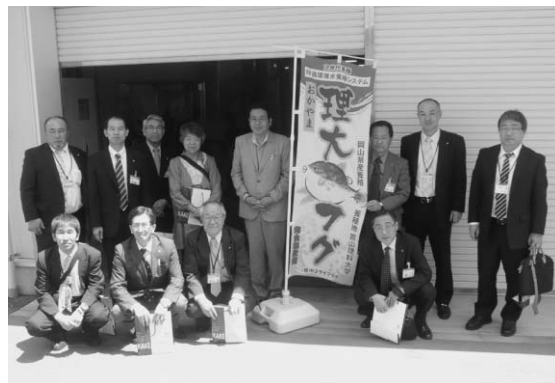
昨年からは魚種をトラフグとウナギに絞り込み、市場にも出荷できるようになりました。トラフグは品質も高く天然ものと変わらないと高く評価を受けています。魚類だけではなく貝類・甲殻類も大丈夫とのことでした。

日本一寒い陸別町産の海水魚を、大漁旗をなびかせ出荷する。届かない夢ではないような気がしてきました。

*魚特有の生臭さはほとんど感じません



*「好適環境水」で飼育したフグは毒性が低い(無い)データもあるそうです



山本准教授からひととおり説明を受けた後、最後にお礼を申し上げ、これを機会にこれからも交流していただければありがたいですねと、お別れをいたしました。

水産庁の「水産白書」のなかにも初めて陸上養殖の取り組みが盛り込まれました。試験途中の課題等も残

っておりませんが、形はどうあれ陸別町と岡山理科大学との交流を深めていくこととこれからも必要不可欠であると感じております。

また、視察先2ヶ所に共通するのは、今までやったことがないから出来ないは通用しない。発想を変えれば、今まで常識だったことが常識でなくなることがある

るといふことをそれぞれ具現化しているところです。

視察参加者一同、机上の議論だけではなく、頭を柔らかくした発想から始まるということを再認識させていただき、陸別町の町政に反映させていく上にも、大変意義ある視察研修であったことをお伝えし、報告終了といたします。



町づくり講演会が開催されました

7月8日に、町からの要請を快く受け入れてくださり、この視察でお世話になった岡山理科大学山本先生の町づくり講演会を開催することができました。

わざわざ養殖のコスト計算もしていただき、陸別の場合、冬季の気温も低いので地下等の使用も考え、水温15℃位でキングサーモンなどが適しているのでは等々のヒントもいただきました。

同行した町職員の報告から

(梶原町の視察を終えて)
有利な国庫補助金があったことがきっかけで風力発電に踏み切ったようですが、「梶原から将来に向けて発信できるものを！」との当初の発想を変えることなく、自然エネルギーの活用、地場産材の積極活用から生み出される循環型社会の実現などへ繋げ、無理のない「持続可能」な地域づくりを目指している姿がうかがわれました。

議会と行政がタッグを組んで、町民の利益を最優先した町政を進めている印象を持ちました。

(岡山理科大学の視察を終えて)
非常に興味深い内容で、今後、新たな産業として注目される可能性があると感じた。始まったばかり

りの研究であるため、取り扱った魚種が10種類程度であり、温暖性の魚が中心となっているようである。鮭の試験養殖がやっと始まったようなので、寒冷地向けの技術や設備に関する研究成果はまだまだ先になりそうである。陸別町として養殖産業に着手するかどうかについては、①研究段階から積極的に関与し、寒冷地内陸漁業の先進事例として脚光を浴びるべきか②安定した生産の確保と設備投資を最小限に抑えるため、寒冷地技術の確立を待って導入すべきか③既存産業の育成・発展に主眼を置くべきか悩ましいところではあるが、将来の陸別のあるべき姿を含め、もう少し時間をかけて検証すべき案件であると思います。

総務常任委員会報告

8月18日に所管事務調査を実施し、町から報告を受けました。

○消防の広域化について

消防の広域化に伴い新たに設立される一部事務組合の規約案、設立のスケジュール等の説明がありました。

○帯広厚生病院に対する運営費補助について

十勝管内の市町村で分担し、不採算部門の運営費を補助することについて説明がありました。

○給食事業について

給食センターの運営方針概要(案)の説明があり、運営は委託ではなく直営方式を採用し、年内に職員(調理員等)の募集を開始したいとの説明がありました。

また、給食費(食材費相当)の試算が示され、値段や地元からの購入割合などについて、活発な意見が交わされました。

産業常任委員会報告

7月7日に所管事務調査を実施し、陸別町農業協同組合と農業に関する課題について意見を交換しました。

農協からは、JA出資型の農業生産法人の設立を検討していること、実習生や従業員の住居の確保に苦労していること、その住居問題が人材の確保を難しくしていることなどの説明がありました。

商工業、林業なども含め、町外から就職してくる人をすぐに受け入れられるような賄いつき住宅、研修センターが必要との提起があり、今後取り組むべき課題との認識を共有しました。

今後も、引きつづき調査・研究することにしていきます。



議会の動き

〈7月〉

- 1日 議員協議会
- 4日 道議長会主催議員研修会(札幌市)
- 7日 議会運営委員会
第3回臨時会
産業常任委員会所管事務調査

〈8月〉

- 18日 総務常任委員会所管事務調査

〈9月〉

- 5日 議会運営委員会
- 9日 9月定例会
議会運営委員会
議員協議会
総務常任委員会
産業常任委員会
- 10日 9月定例会
議員協議会
- 11日 9月定例会
議会運営委員会
- 24日 9月定例会
議会運営委員会
議員協議会

〈10月〉

- 9日 議会運営委員会
- 17日 十勝議長会主催議員研修会(鹿追町)

次回の定例会は12月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。

皆さんの声を聞かせたい

請願(陳情)は国や町などに対しての要望を文書で提出するもので住民の権利として保障されています。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

陸別町議会
ホームページ
のご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町ホームページ】
<http://www.town.rikubetsu.hokkaido.jp/>